



# NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 09

# “減災キャラバン on 上町台地”の道程からを開催中!



(~2010年1月29日)



減災キャラバンが  
上町台地にやってきた!  
その第一歩の物語を  
紹介展示

U-CoRoウィンドウ・エキジビション第9弾となる今回の展示「減災キャラバン on 上町台地」の道程からでは、地域に根差す「土の人」と、地域外から智慧を運ぶ「風の人」がともに歩む減災への道程に光をあて、その第一歩の物語を紹介しています。



スリットで表現した  
上町台地と4つの会場

2009年2月1日~28日、3月13日に、上町台地界隈の4会場、應典院、複合文化施設「南」、高津宮、お屋敷再生複合施設「練」を巡回した「減災キャラバン on 上町台地」。「いのちをまもる智慧 減災に挑む30の風景」のパネル展示とともに各会場で行われたリレートーク、まち歩きトークから、心に留めておきたい言葉をピックアップ。

## 第3回ロジモク減災勉強会 M3

### 減災コミュニケーション入門

～“減災”って何?“減災コミュニケーション”ってどうするの? 11/10

講師：瀧美公秀氏(大阪大学大学院人間科学研究科准教授、  
(特活)日本災害救援ボランティアネットワーク理事長)  
日時：11月10日(火) 19:00~21:00  
会場：サロンdeありす(中央区谷町6) / 主催：からほり倶楽部  
共催：CEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター、ロジモク研究会

“防災と言わない防災”も大切。  
まず、一緒にやってみること。  
そこから、人と人が  
つながっていきます。



瀧美公秀氏(右)



## からほり倶楽部主催、U-CoRoプロジェクトほか共催、 ロジモク減災勉強・見学会が 昨年に続き展開されています。

災害の際の被害をできるだけ少なくする「減災」。その具体的意味や「防災」との違いは何でしょうか? 大阪大学で「減災コミュニケーション論」を講義されている瀧美先生をお招きし、防災・減災の基本を学ぶ勉強会。減災コミュニケーションの意味を知り、意識を共有し合う機会となりました。

## 生野コリアタウン 共生まつりで、 防災・減災 ワークショップ実施!

11/15



生野区のコリアタウンでは11月15日(日)に「生野コリアタウン共生まつり2009」が開催され、過去最高の2万人以上が訪れる大盛況。そのイベントのプログラムのひとつとして、小学生を交えて、減災ゲーム「クロスロード」を開催。ファシリテーター(進行役)はU-CoRoプロジェクト・ワーキングの早川厚志さん。楽しく遊びながら、もしもの時に思いを馳せました。





第4回ロジモク減災勉強会 M4

上町断層帯が動き、大地震が起こったら、助けはどこからやってくるの？

11/19

もしも上町断層帯が動いたら  
～救援ボランティアは、いつ、どこに、どうやってやってくるの？～

講師：栗田暢之氏(特活)レスキューストックヤード代表理事)  
日時：11月19日(木) 19:00～21:00 / 会場：サロンdeありす(中央区谷町6)  
主催：からほり倶楽部 / 共催：CEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング、  
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター、ロジモク研究会

栗田暢之氏



上町断層帯が動いたときにM7.6と予想される揺れは、上町台地だけでなく大阪平野を大きく揺らし、交通網も寸断されるのでは？ 大都市の大阪とその周辺が被害に遭えば、断層直近の空堀界隈には、いづろ救援の手が届くのでしょうか？ 名古屋を拠点に各地の被災地支援に活躍する災害救援NPOの栗田さんに状況をシミュレーションしてもらい、地震に備える「覚悟」を新たにしました。



必ず助けにきますが、少なくとも3日間は自力で生きのひる覚悟が必要！

第2回ロジモク減災現地見学会

上町断層帯を歩く

～かかってこんかい！上町断層ツアー～

11/21

ナビゲーター：寒川 旭氏(産業技術総合研究所関西センター招聘研究員)  
日時：11月21日(土) 13:30～17:00  
集合場所：地下鉄谷町線・堺筋線南森町駅東改札前  
主催：からほり倶楽部 / 共催：ロジモク研究会、CEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター



直下型だけでなく、プレート型の東海・南海地震にも、十分注意が必要！

寒川旭氏(右端)



デジタル標高地形図「大阪」(国土地理院)



寒川旭氏とともに、上町断層帯と推定される付近をまち歩きしました。寒川氏によると「上町断層帯には幅があり、通常言われているよりはやや西側で、いくつかに枝分かれしているのでは」とのこと。大都市の真ん中で、超高層建築や歴史的な建造物が多いのも気になります。



おしらせ 減災Cafe in 上町台地  
U-CoRo09展示関連イベントを開催します！  
減災キャラバンの一歩から考える、生活文化としての減災

ゲスト：矢守克也氏(京都大学防災研究所教授)  
渥美公秀氏(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)  
栗田暢之氏(特活)レスキューストックヤード代表理事)  
減災キャラバン on 上町台地に参加した方々

時間：1月26日(火) 19:00～21:00  
会場：大阪ガス実験集合住宅NEXT21内2階ホール(天王寺区清水谷町6-16)  
主催：大阪ガスCEL / 共催：(特活)レスキューストックヤード、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

1/26



被災地をめぐる面々が一堂に会してのイベント！ぜひおいでください

ゴールの大黒槌は、嘉永7年(1854)の大津波で、船が押し上げられて止まったところ

